

令和 2 年度 事業報告書

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 3 1 日

公益財団法人 庄内地域産業振興センター

I 公益目的事業

1 企業経営力強化支援事業

1-1 経営サポート・新事業支援事業

(1) 経営実践セミナー等の開催

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、喫緊の経営課題解決に取り組む事業者向けの各種経営セミナーを企画・実施した。

1) 「ビジネスWeb活用セミナー」

＜Webを活用したビジネス戦略＞（全4回／8時間）

- ・実施日：令和2年6月16日、6月23日、6月30日、7月7日
- ・講師：(資)そふと 代表 我孫子 勝広 氏
- ・参加者：延60名

＜ECビジネスの構築・活用実践＞（全4回／8時間）

- ・実施日：令和2年7月9日、7月16日、7月22日、7月30日
- ・講師：(資)そふと 代表 我孫子 勝広 氏
- ・参加者：延58名

2) 「利益指数の数字力養成講座」

＜損益分岐点の活用入門＞（全2回／4時間）

- ・実施日：令和2年6月26日、7月3日
- ・講師：庄内産業振興センターインキュベーションマネージャー
- ・参加者：延19名

＜事業計画作成のための数字の見方・活かし方＞（全2回／4時間）

- ・実施日：令和2年7月21日、7月28日
- ・講師：庄内産業振興センターインキュベーションマネージャー
- ・参加者：延13名

3) ビジネスに役立つ「ZOOM活用×SNS動画配信」

＜ZOOMを活用した顧客獲得術＞（2時間）

- ・実施日：令和2年10月27日
- ・講師：(資)そふと 代表 我孫子 勝広 氏
- ・参加者：23名

＜SNS動画配信による顧客獲得術＞（2時間）

- ・実施日：令和2年11月10日
- ・講師：(資)そふと 代表 我孫子 勝広 氏
- ・参加者：23名

4) 「YouTube動画入門講座」

＜入門編＞（全2回／4時間）

- ・実施日：令和3年1月29日、2月5日
- ・講師：GOZEN(株) 代表取締役 佐藤 佑馬 氏
- ・参加者：延62名

＜集客編＞（全2回／4時間）

- ・実施日：令和3年3月2日、3月9日
- ・講師：GOZEN(株) 代表取締役 佐藤 佑馬 氏
- ・参加者：延31名

5)「ECフォーラム 2020 山形庄内」～実践経営者に学ぶビジネスのこれから～
(オンラインセミナー)

<Session1 コロナ禍のECビジネスの状況とこれからの潮流>

- ・開催日：令和2年10月29日
- ・講師：(株)柳田織物 代表取締役 柳田 敏正 氏
- ・参加者：20名

<Session2 2021年ライブECコマース本格化に向けて今進めていくべきこと>

- ・開催日：令和2年11月20日
- ・講師：(株)イージー 代表取締役 岸本 栄司 氏
- ・参加者：23名

<Session3 国内・海外でコロナ禍での新しいビジネスのやり方>

- ・開催日：令和2年12月8日
- ・講師：(株)ピアリビング 代表取締役 室水 房子 氏
- ・参加者：22名

6)「ネットショップ販促セミナー」～自社サイトで自力で売上を上げるネットショップ成功の秘訣を伝授～
(オンラインセミナー)

- ・開催日：令和3年3月5日
- ・講師：(有)いろは 代表取締役 竹内 謙礼 氏
- ・参加者：36名

7)「Web・デジタル活用お悩み相談会」

- ・開催日：令和3年2月24日 相談事業者：3事業者

8)「ヤマガタWebビジネス研究会」の活動支援

EC(電子商取引)をはじめWebを活用した新しいビジネスモデルを創出するコミュニティの場として設立した「ヤマガタWebビジネス研究会」において、専門家によるセミナーの開催や自主勉強会活動の支援を行った。

- ・会員数：25社

9)産業支援機関等連携推進事業の開催

産業支援機関、金融機関等との連携協力による相談会を共催し、連携協力の特色を活かした企業支援を行った。

「経営課題相談会」(鶴岡信用金庫との共催)

- ・実施日：令和3年3月26日
- ・参加者：10社

(2)改善指導アドバイザーによる製造業の生産改善相談・指導

1)ものづくり生産改善指導

生産改善担当者がものづくり企業を訪問し、生産現場での課題をヒアリングして改善に向けたアドバイス・指導を行った。

(「1-2(2) 起業・ビジネス相談室・ものづくり革新支援」に記載)

(3) 地域企業による改善活動事例発表会の開催

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「私のかいぜん発表会」の開催を中止し、規模を縮小して同発表会実行委員会企業9社によるオンライン方式での「改善活動交流会」を開催した。

1-2 起業家育成施設入居事業者・創業予定者等への経営相談・助言

(1) 起業家育成施設の入居状況（令和3年3月31日現在）

〔入居事業者〕 新規入居事業者1社、退去事業者1社

貸室		事業者名	代表者	業務内容
A	25 m ²	HAYASAKAコーポレーション	早坂 良悦	設計・建設・不動産業
		ライフプランニングサービス(合同)	佐々木 一広	総合保険代理店業
B	15 m ²	(株)WAKAZE	稲川 琢磨	日本酒製造・販売
		GOZEN (株)	佐藤 佑馬	Web制作、越境EC
		fiKa(合同) くへたも相談室	今泉 香奈子	障害福祉サービス

起業家育成のため、インキュベーションマネージャーが日頃から入居事業者とコミュニケーションを図り、それぞれの課題に対し側面的な支援を行っている。

(2) 起業・ビジネス相談室の運営

山形県よろず支援拠点と連携し、「創業・起業」「ものづくり革新」「Webビジネス」の各支援をはじめ、事業者の販路開拓・商品開発、新たな事業への挑戦などの経営課題に対し、相談・助言サービスや販路開拓・ビジネスプラン作成支援など、地域中小企業・小規模事業者の成長・発展をサポートした。

- ・創業・起業支援 具体的な事業構想を持ち、創業・起業をめざす方への支援
相談人数：28名（うち特定創業支援事業4名）
- ・ものづくり革新支援 生産現場の改善・品質向上を図ろうとしている製造業への支援
相談件数：4社、研究開発プロジェクト*：2件
*（「3-3 戦略的基盤技術高度化支援事業における研究開発推進事業」に記載）
- ・Webビジネス支援 EC等販路開拓や売上アップをめざす企業等への支援
相談件数：435件（山形県よろず支援拠点庄内サテライト実績）

(3) コワーキングスペース鶴岡「エキイチ」の運営

当地域における起業の促進を目的に、起業家やクリエイター、フリーランス等のコミュニケーション・ネットワーク形成のオープンワークスペースとして、鶴岡市起業家育成施設内に開設したコワーキングスペースを運営し、ビジネスに関するワークショップを開催するなど、起業家への育成・支援を行った。

- ・登録会員数：90名
- ・総利用回数：895回（登録会員等849回、ドロップイン46回）
- ・ワークショップ：「ビジネス書読書会」（9月～3月）8回開催、延参加者39名

1-3 企業間・産学交流連携促進事業

(1) 経営者フォーラムの開催

＊新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

2 産業人材育成事業

2－1 ものづくり中核人材育成事業（鶴岡市産業人材育成支援事業）

（1）品質管理・生産改善研修の開催

品質の良い製品を安定的に生産するために有効な品質管理の手法や、生産管理、製造現場の改善等、生産性向上に関する講座を実施した。

①「現場改善リーダー研修」

- ・実施日：令和2年10月27日（6時間）
- ・講師：バリュー・プロダクツ 代表 三宮 直人 氏
- ・受講者：5名

②「ヒューマンエラー対策セミナー」

- ・実施日：令和2年11月25日（6時間）
- ・講師：バリュー・プロダクツ 代表 三宮 直人 氏
- ・受講者：11名

③「5S推進研修」

- ・実施日：令和2年11月26日（6時間）
- ・講師：バリュー・プロダクツ 代表 三宮 直人 氏
- ・受講者：15名

④「品質管理基礎講座」

- ・実施日：令和2年12月9日（6時間）
- ・講師：QCサークル本部講師/指導員 石原 道明 氏
- ・受講者：15名

⑤「ものづくりのタイム管理」

- ・実施日：令和2年12月11日（6時間）
- ・講師：生産改善アドバイザー 根岸 進 氏
- ・受講者：16名

⑥「品質管理実践講座」

- ・実施日：令和3年1月13日（6時間）
- ・講師：QCサークル本部講師/指導員 石原 道明 氏
- ・受講者：6名

⑦「なぜなぜ分析・問題解決」

- ・実施日：令和3年1月22日（6時間）
- ・講師：生産改善アドバイザー 根岸 進 氏
- ・受講者：15名

2－2 職業能力開発講座事業（鶴岡市産業人材育成支援事業）

（1）職業能力開発講座の開催

次世代の地域産業を支える人材の確保と育成を図り、地域における職業能力開発及び経営人材の開発を目的に、職業に必要な技術、技能および知識を習得するための各種の教育訓練や研修を実施した。

1) 階層別講座 (4 講座)

①「職場リーダー研修」

- ・実施日：令和2年8月19日・20日 全2回 (14 時間)
- ・講 師：(株)ひと組織研究所 代表取締役 田中 成子 氏
- ・受講者：16名

②「中堅社員研修」

- ・実施日：令和2年9月2日・3日 全2回 (14 時間)
- ・講 師：(株)ひと組織研究所 代表取締役 田中 成子 氏
- ・受講者：14名

③「若手社員ステップアップ研修」

- ・実施日：令和2年10月13日 (7 時間)
- ・講 師：(株)ひと組織研究所 代表取締役 田中 成子 氏
- ・受講者：18名

④「管理者研修」(オンライン研修)

- ・実施日：令和3年1月26日・27日 全2回 (14 時間)
- ・講 師：リーダーシップ・コンサルティング(株) 代表取締役 西村 直哉 氏
- ・受講者：18名

2) 職能別講座 (2 講座)

①「シーケンス制御基礎講座」

- ・実施日：令和2年11月4日～25日 全4回 (8 時間)
- ・講 師：鶴岡工業高等専門学校 創造工学科 電気・電子コース 准教授 保科 紳一郎 氏
同校 教育研究技術支援センター 鈴木 大介 氏
- ・受講者：7名

②「機械保全技能検定準備講座」

- ・実施日：令和2年11月13日～12月5日 全3回 (18 時間)
- ・講 師：山形航空電子(株) 松井 朗 氏 (機械保全特級技能士)
- ・受講者：19名

3) ビジネス・スキルアップ講座 (11 講座)

①「データベース入門」

- ・実施日：令和2年8月24日～10月5日 全12回 (30 時間)
- ・講 師：(有)マルチソフト 代表取締役 工藤 良男 氏
- ・受講者：11名

②「生産性向上研修」

- ・実施日：令和2年9月8日 (6 時間)
- ・講 師：(株)インソース 長澤 敦志 氏
- ・受講者：12名

③「調整力発揮研修」

- ・実施日：令和2年9月24日 (6 時間)
- ・講 師：(株)インソース 長澤 敦志 氏
- ・受講者：13名

④「モチベーション向上研修」

- ・実施日：令和2年9月29日（6時間）
 - ・講師：(株)インソース 長澤 敦志 氏
 - ・受講者：6名
- ⑤「女性社員キャリアアップ研修」
- ・実施日：令和2年10月7日（7時間）
 - ・講師：(株)日本マネジメント協会 後藤 和也 氏
 - ・受講者：13名
- ⑥「リーダーシップ強化セミナー」
- ・実施日：令和2年10月9日（7時間）
 - ・講師：(一社)新潟県労働衛生医学協会 専務理事 大西 金吾 氏
 - ・受講者：20名
- ⑦「ヒューマンスキルアップ研修」
- ・実施日：令和2年10月14日（7時間）
 - ・講師：(株)ひと組織研究所 代表取締役 田中 成子 氏
 - ・受講者：10名
- ⑧「EXCELマクロとVBAプログラミング」
- ・実施日：令和2年10月19日～11月30日 全12回（30時間）
 - ・講師：(有)マルチソフト 代表取締役 工藤 良男 氏
 - ・受講者：12名
- ⑨「ロジカル・コミュニケーション」
- ・実施日：令和2年10月21日（7時間）
 - ・講師：リーダーシップ・コンサルティング(株) 代表取締役 西村 直哉 氏
 - ・受講者：17名
- ⑩「接客・接遇ブラッシュアップ研修」
- ・実施日：令和2年11月5日（7時間）
 - ・講師：(株)日本マネジメント協会 秋葉 喜浩 氏
 - ・受講者：13名
- ⑪「OJT指導者研修」
- ・実施日：令和2年12月4日（7時間）
 - ・講師：(株)日本マネジメント協会 會田 慶宏 氏
 - ・受講者：20名

（2）企業研修助成事業

中小企業が主体的に行う人材育成の取り組みを支援し、地域における人材の育成と産業の活性化を目的に、鶴岡市内の中小企業が研修を実施するための経費の一部を助成した。

- ・助成事業者：鶴岡計器(株)、昭和化学工業(株)鶴岡事業所、(株)トガシ技研

（3）新社会人スタートセミナーの開催

4月就職予定の高校3年生を対象に、新しい職場への定着と早期離職防止をはかり、社会生活の基本知識、ビジネスマナー、基礎的職業能力、生活設計等を身につけるためのセミナーを開催した。

1)「新社会人の基礎講座」

- ・実施日：1回目／令和3年2月15日、2回目／2月16日（各2.5時間）

- ・講師：(株)メルサ 専務取締役 鈴木 奈智子 氏（キャリアカウンセラー）
 - ・受講者：1回目／75名、2回目／72名
- 2)「製造・生産現場の基礎講座」
- ・実施日：令和3年2月17日（2.5時間）
 - ・講師：庄内地域産業振興センター 人材育成・生産改善チーフマネージャー 蓬田 邦彦
 - ・受講者：71名
- 3)「コミュニケーション・スキルアップ講座」
- ・実施日：令和3年2月17日（2.5時間）
 - ・講師：ワークショップリーダー 今田 由美子 氏
 - ・受講者：83名
- 4)「実践的ビジネス・接客マナー講座」
- ・実施日：1回目／令和3年2月18日、2回目／2月19日（各2.5時間）
 - ・講師：(株)荘内銀行 接遇インストラクター 須佐 恵美 氏
 - ・受講者：1回目／36名、2回目／41名

3 産学共同研究等促進支援事業

3-1 バイオクラスター形成促進事業（山形県バイオクラスター形成促進事業）

（1）産学官共同研究コーディネート活動の実施

1) コーディネーター体制整備事業

慶應義塾大学先端生命科学研究所(慶應先端研)を中心とした学術研究機関、公設試験研究機関等の情報の収集や連携の強化に努め、県内企業を訪問してバイオ研究の成果や技術シーズを紹介するとともに、ヒアリングやアンケート調査により企業の課題やニーズの探索、新技術・新商品開発等の情報収集を行い、共同研究プロジェクト構築に向けたコーディネート活動を実施した。

- ・コーディネーター配置 2名
- ・訪問実績 県内企業：71社
大学・公設試等：11機関
行政・支援機関：50機関・団体

2) 先端バイオテクノロジー活用基盤強化事業

研究員を配置して慶應先端研の研究やバイオ技術事業化支援助成事業の一部について共同研究を支援する等、バイオ研究成果の活用をすすめる活動を実施した。

- ・研究員配置 3名
- ・研究支援 バイオ技術事業化支援事業に係る共同研究：13件

（2）産学官研究交流会等の開催

バイオ研究成果を活用した産学官連携の取り組みを広め、県内企業と研究機関との新たな共同研究プロジェクトの創出や企業と研究者との交流促進、県民の理解醸成等を目的に研究交流会及びセミナーを開催した。

1) 研究交流会

- 「健康の観点から発酵食品を考える」～これからの発酵食品の高付加価値化と発酵技術の高度利用～
- ・実施日：令和2年10月27日

- ・内 容：慶應先端研等の教育研究機関と発酵食品製造業者の研究等の発表の場を設定し、製造業者、研究機関の相互理解を深めると共に、バイオ技術の活用策を市民にも発信した。

○研究者、事業者等から提言・現状報告

「メタボローム解析とは」

庄内地域産業振興センター 研究員 小倉 立己

「蔵王クリームチーズ粕漬の開発について」

(株)本長 代表取締役社長 本間 光太郎 氏

「発酵食品と腸内環境について」

(株)メタジェン 執行役員COO 村上 慎之介 氏、研究員 テナギ 氏

「日本酒製造の現状と課題」

(株)渡会本店 代表取締役社長 渡會 俊仁 氏

「日本酒等を活用した化粧品の開発について」

(株)高研 第3開発部長 佐藤 幸宏 氏

「麹菌由来の産業用酵素の開発と機能解析」

山形大学農学部 教授 小関 卓也 氏

- ・会 場：鶴岡市先端研究産業支援センター レクチャーホール

- ・参加者：63名

2) 研究発表会

[やまがたバイオサイエンスセミナー] (集合&オンライン)

- ・実施日：令和3年2月10日

- ・内 容：○基調講演 「鶴岡サイエンスパークの最新情報」

慶應義塾大学先端生命科学研究所 所長 富田 勝 氏 (オンライン)

○慶應先端研発バイオベンチャー企業の事業紹介

「心不全治療に革命を。メトセラの再生医療技術」

(株)メトセラ 代表取締役 岩宮 貴紘 氏 (オンライン)

○慶應先端研の研究紹介

「メタボロミクスが育む食品産業」

慶應義塾大学先端生命科学研究所 特任講師 若山 正隆 氏

○共同研究事例発表

「“酒米麴で甘酒を” 海外普及に向けた高品質甘酒の製造と活用に関する研究」

(株)アスク 米穀精米事業/ASK ユニークフーズ研究室 部長 市村 明士 氏

「飼料用米が豚肉の栄養機能性とおいしさに寄与する影響に関して」

(株)平田牧場 生産本部 研究・開発室長 池原 彩 氏

- ・会 場：鶴岡市先端研究産業支援センター レクチャーホール

- ・参加者：約160名 (オンライン109名)

(3) 共同研究シーズ事業化支援事業

1) バイオ技術事業化促進事業

慶應先端研との共同研究や、その成果を活用して事業化等に取り組む県内企業等を対象に事業を公募し、研究開発事業費の一部を助成金交付により支援した。

- ・公募期間：1次 令和2年4月27日～令和2年5月29日

2次 令和2年4月27日～令和2年6月26日

・採択事業：13件、助成金総額 15,864千円

【シーズ探索型 採択8件】

	助成事業名	交付先	助成金額
①	メタボローム解析を活用した黒にんにくの高品質化及びその安定化	(株)ジ・オンジ・ファーム (寒河江市)	1,000 千円
②	メタボローム解析等を活用した山形牛の肉質・機能性の向上	(株)なごみ農産 (天童市)	1,000 千円
③	メタボローム解析によるアカモクの商品開発と多目的利用の可能性探索	山形県漁協 (酒田市)	836 千円
④	メタボローム解析による成分変化を見据えたキクラゲの栽培・加工方法の最適化の研究	(有)ティーズ・ファクトリー (鶴岡市)	583 千円
⑤	メタボローム解析を活用した熟成りんご酢の開発	(有)壽屋漬物道場 (東根市)	500 千円
⑥	さくらんぼの長期保管技術の検討及び加工食品への展開	角田商事(株) (寒河江市)	500 千円
⑦	メタボローム解析を活用した機能性が高く美味しい鯨肉加工製品の開発	(株)山形丸魚 (天童市)	500 千円
⑧	そばの貯蔵過程における成分変化・物性変化の解明と新たな活用の模索	(株)鈴木製粉所 (山形市)	500 千円

【事業化推進型 採択5件】

①	メタボローム解析を活用したイカ肝加工品の高度利用・製法の確立	(株)山形飛鳥 (酒田市)	2,445 千円
②	松ヶ岡地域で栽培されたワイン用ブドウの醸造方法の最適化研究	エルサンワイナリー松ヶ岡(株) (鶴岡市)	2,000 千円
③	品種、精米特性を活かした米麴、甘酒関連製品の製造評価と製品開発	(株)アスク (山形市)	2,000 千円
④	がん細胞に対する高感度分析手法、「オノコメボライト解析」の開発と事業化	インフィニティ・ラボ(株) (鶴岡市)	2,000 千円
⑤	米飼料鶏卵を活用した鶏卵加工品の加工過程の分析と商品開発	(株)半澤鶏卵 (天童市)	1,700 千円

2) バイオ関連産業成長促進事業

慶應先端研の研究成果を活用した新製品の販路拡大に取り組む県内企業や、事業拡大のために研究者等を新たに雇用する県内企業に対し助成金交付により支援した。

- ・公募開始：令和2年4月27日
- ・採択事業：1件、助成金総額 300千円

【販路開拓型 採択1件】

	助成事業名	交付先	助成金額
①	山形県産オニグルミを用いた機能性食品の普及と販路拡大	三和油脂(株) (天童市)	300 千円

(4) がんメタボローム研究推進支援事業

国立がん研究センターと慶應義塾大学先端生命科学研究所によるがんメタボローム共同研究を推進するため、鶴岡市先端研究産業支援センター内の国立がん研究センター鶴岡連携研究拠点・がんメタボロミクス研究室において実施する研究プロジェクト活動の支援を行った。

1) 事業推進体制

① がんメタボローム研究連携協議会の開催

- ・開催日：令和3年2月5日
- ・会場：鶴岡市先端研究産業支援センター

② 研究成果等報告書の作成

がんメタボロミクス研究室ができてからこれまでの研究成果等を記載した研究成果等報告書を作成し、第1回評価委員会(令和2年8月25日開催)において説明した。

2) 研究プロジェクトの推進

国立がん研究センター、慶應義塾大学先端生命科学研究所、庄内地域産業振興センターの3者で共同研究契約を締結し、2つの研究チーム(研究員4名、研究補助員3名配置)において、がんに関するメタボローム解析を843検体行った。

① 代謝物解析研究(チームリーダー：牧野嶋秀樹)

発がんを誘導する代謝産物やがん細胞に特有な代謝産物・代謝経路を明らかにし、有効な新規治療法や創薬の開発につながる研究を推進する。

② がん遺伝子産物解析研究(チームリーダー：横山明彦)

がんの発症に関わるMYCというタンパク質と代謝の関係性を明らかにし、白血病等の新たな創薬、診断法の開発を目指す。

3) 外部研究機関との共同研究

① ㈱細胞科学研究所(本社/仙台市、生産工場/天童市)

- ・研究課題：がんの代謝研究に必要な細胞培養用培地の研究開発
- ・実施期間：平成30年7月1日～令和4年3月31日

② 大日本住友製薬㈱(本社/大阪市)

- ・研究課題：抗がん剤の適用拡大に関する研究
- ・実施期間：平成31年3月1日～令和5年3月31日

③ 大日本住友製薬㈱(本社/大阪市)

- ・研究課題：抗がん剤の新規探索研究
- ・実施期間：令和元年7月1日～令和2年10月31日

④ ミクロン精密㈱(本社/山形市)

- ・研究課題：がん細胞およびがん動物モデルを用いる超音波治療効果の検証
- ・実施期間：令和元年7月1日～令和3年3月31日

⑤ (一財)鶴岡市開発公社(鶴岡市)

- ・研究課題：がん細胞と刺胞動物における核酸代謝および脂質代謝の比較研究
- ・実施期間：令和元年7月1日～令和5年3月31日

⑥ 福井大学医学部内科学(福井市)

- ・研究課題：メタボローム解析を用いた腫瘍崩壊症候群関連代謝産物の分析と発症予測マーカーの同定
- ・実施期間：令和元年10月16日～令和3年3月31日

⑦ 宮崎大学医学部腫瘍生化学分野(宮崎市)

- ・研究課題：ATL特異的代謝機構に関する基礎的研究
- ・実施期間：令和元年11月1日～令和3年3月31日

⑧ 国立長寿医療センター(愛知県大府市)

- ・研究課題：がん化及び老化における細胞機能と代謝物の関係性
 - ・実施期間：令和2年3月1日～令和3年3月31日
- ⑨ 東京医科大学(東京都)
- ・研究課題：がんにおける細胞機能と代謝物の関係性
 - ・実施期間：令和2年3月1日～令和3年3月31日
- ⑩ 群馬大学大学院医学系研究科、重粒子線医学研究センター(前橋市)【新規】
- ・研究課題：メタボローム解析を用いる重粒子線の効果予測代謝マーカーの同定
 - ・実施期間：令和3年2月1日～令和5年3月31日
- 4) 論文掲載
- ① Biochimica et Biophysica Acta - Gene Regulatory Mechanisms (オランダ)
- ・掲載日：令和2年4月19日
 - ・内 容：様々な MLL 融合蛋白質複合体による分子機構を解明
- ② Molecules (スイス)
- ・掲載日：令和2年5月21日
 - ・内 容：ゼブラフィッシュを基盤としたがん細胞転移抑制効果を有する化合物の探索
- ③ Blood (米国)
- ・掲載日：令和2年6月3日
 - ・内 容：HHEX タンパク質が変異型 ASXL1 と協調して骨髄性白血病を引き起こすことを解明
- ④ Cancer Discovery (米国)
- ・掲載日：令和2年6月10日
 - ・内 容：コヒーシンと RUNX1 の機能欠損が高次クロマチン構造を破綻させ、骨髄異形成症候群を引き起こすことを解明
- ⑤ Cell Reports (米国)
- ・掲載日：令和2年9月29日
 - ・内 容：MOZ 変異型白血病における MLL タンパク質複合体の役割の解明し、MLL 変異を持たない白血病に対して MLL 複合体阻害剤が有用である事を科学的に証明
- ⑥ STAR Protocols(米国)
- ・掲載日：令和3年3月23日
 - ・内 容:Protocol for fractionation-assisted native ChIP (fanChIP) to capture protein-protein/DNA interactions on chromatin
- 5) 学会発表
- ① The 50th NCC Young Researchers Seminar(Web)
- ・会期:令和2年7月6日
 - ・内容:Functional collaboration of HOXA9 and MYC underlies the development of MLL-associated leukemia(研究員 宮本 亮)
- ② 鶴岡カンファレンス2020(鶴岡市)
- ・会期：令和2年11月7日
 - ・内容：白血病における遺伝子発現異常の根源的なメカニズム(横山明彦チームリーダー)
- ③ 第25回造血器腫瘍研究会(Web)
- ・会期：令和3年1月23日
 - ・内容：HB01 複合体は MLL として結合して白血病化を促進する (特任研究員 高橋 慧)
- ④ 2020 World Conference on Lung Cancer(Web)
- ・会期：令和3年1月28日

- ・内容：Metabolic Characterization of Drug Resistance to Antifolate In Malignant Pleural Mesothelioma(研究補助員 佐藤雄三)

6) 成果を活用した地域振興の推進

① 全国の研究者向け「鶴岡カンファレンス2020」の開催

- ・実施日：令和2年11月7日～8日
- ・会場：鶴岡市先端研究産業支援センター
- ・テーマ：がんにおける遺伝子発現と代謝のメカニズム
- ・内容：現地及びWeb併用によるハイブリッド方式で開催(会場からのLIVE配信4名、遠隔からのZoomによるLIVE配信14名、計18名の演者)
- ・参加者：現地参加33名(県内24名、県外9名)、Web参加50名(県内2名、県外44名、米国4名) 計83名(県内26名、県外53名、米国4名)

② 第6回NCC-TMCセミナーの開催

- ・実施日：令和2年8月6日
- ・会場：鶴岡市先端研究産業支援センター
- ・テーマ：これからの病理のかたち
- ・講師：横浜市立大学 教授 藤井 誠志 氏
- ・参加者：17名

③ 慶應先端研特別研修生の受入れ

慶應先端研では、地元高校生・高専生を「特別研修生」として受け入れ、プログラムを実施している。当研究室でも2017年度から1人の研究生を受け入れ、「将来、博士号をとって世界的な研究者になりたい」という大きな夢を持った高校生を全面的に支援した。

④ 国立がん研究センター東病院と鶴岡市立荘内病院の連携協定

国立がん研究センター・鶴岡連携研究拠点「がんメタボロミクス研究室」が開設されたことをきっかけに、国立がん研究センター東病院と鶴岡市立荘内病院は2020年7月8日に、がん医療に関する診療連携の協定が締結された。

3-3 戦略的基盤技術高度化支援事業における研究開発推進事業

国の補助金である戦略的基盤技術高度化支援事業補助金を活用し、研究開発及び事業化を図る地域企業、研究機関と共同体を構成し、事業管理機関として研究開発の推進を支援した。

1) 共同体：(株)飯塚製作所、(有)リンクテクノス、KMシステム工房、 慶應義塾大学先端生命科学研究所

テーマ：超高感度計測を可能にするキャピラリー電気泳動-質量分析用インターフェイスの開発

研究内容：慶應先端研が世界に先駆けて開発したキャピラリー電気泳動-質量分析法(CE-MS)の測定感度向上のため、CE-MS用の新規インターフェイスの研究開発を行う。目標としていた従来法の100倍を超える高感度化を達成した。

研究期間：平成30年度～令和2年度

補助金額：20,655千円(令和2年度)

2) 共同体：テクマン工業(株)、山形県工業技術センター

テーマ：形状評価及び外観検査機能を有するプラスチックペレット品質検査システム開発

研究内容：形状・寸法を均一化したペレット材の供給のため、高速なプラスチックペレット専用画像処理技術の開発により、形状及び外観に関するプラスチックペレット品質検査システムを構築した。

研究期間：令和元年度～令和3年度

補助金額：20,787千円（令和2年度）

4 伝統工芸技術伝承・活用促進支援事業

4-1 伝統工芸技術保存事業

地域伝統工芸のひとつである「竹塗り漆器」の振興と技術伝承のため、鶴岡竹塗り同好会の研修活動を支援した。

4-2 鶴岡お菓子まつり共催事業

＊新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

II 収益事業

1 施設管理運営事業

指定管理者として利用者の利便性と窓口サービスの向上等を心がけ、施設の効率的な管理運営を行った。

○庄内産業振興センター施設利用状況（マリカ西館：市民ホール等、マリカ東館：研修室等）

施設別 月別	マリカ西館				マリカ東館						合計
	ホール	大会議室	小会議室1	小会議室2	展示室	研修室1	研修室2	研修室3	研修室4	和室	
4月	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	4
5月	0	14	14	0	0	0	0	1	0	0	29
6月	0	30	30	0	1	0	2	4	0	0	67
7月	1	31	31	0	0	2	7	11	2	0	85
8月	0	1	2	0	0	4	6	7	0	0	20
9月	1	2	3	0	1	7	11	4	0	0	29
10月	2	4	0	0	3	14	17	5	10	2	57
11月	3	17	1	0	5	17	11	5	10	1	70
12月	2	7	0	0	2	8	8	0	4	0	31
1月	2	13	0	0	1	3	1	2	4	1	27
2月	7	4	4	0	5	9	11	6	9	3	58
3月	4	2	2	0	4	12	10	4	8	1	47
合計	22	126	87	0	22	76	84	49	50	8	524

III 法人運営事業

1 理事会・評議員会の開催状況

公益財団法人庄内地域産業振興センター定款第19条及び第37条に基づき、理事長が招集又は決議事項を提案した理事会及び評議員会は次のとおりであり、それぞれ承認を得た。

- | | | |
|---------|---|--|
| 1) 理事会 | 第1回定時理事会
令和2年5月22日
決議の省略 | 議第1号 令和元年度 事業報告及び収支決算の承認について
議第2号 令和2年度 定時評議員会の招集について |
| | 第1回臨時理事会
令和2年7月30日
決議の省略 | 議第1号 評議員会へ提出する評議員候補者名簿について |
| | 第2回定時理事会
令和3年3月25日
出席理事 5名
出席監事 2名 | 議第1号 令和3年度 事業計画書及び収支予算書の承認について
議第2号 給与規程の一部改正について
議第3号 評議員会へ提出する評議員候補者名簿について |
| 2) 評議員会 | 定時評議員会
令和2年6月18日
出席評議員 10名 | 議第1号 令和元年度 事業報告について
議第2号 令和元年度 収支決算の承認について
議第3号 令和2年度 事業計画書及び収支予算書の報告について |
| | 第1回臨時評議員会
令和2年4月20日
決議の省略 | 議第1号 理事の選任について
議第2号 評議員の選任について |
| | 第2回臨時評議員会
令和2年8月28日
決議の省略 | 議第1号 評議員の選任について |
| 3) 監事監査 | 令和2年5月13日 | 令和元年度 事業報告書・決算報告書の監査業務 |

2 評議員及び理事・監事の異動

<評議員>

- | | | | |
|-----|---------|-------|--------------|
| ・就任 | 令和2年 4月 | 村山 秀樹 | (山形大学農学部長) |
| | 令和2年 8月 | 太田 政士 | (庄内たがわ農協組合長) |
| ・退任 | 令和2年 7月 | 黒井 徳夫 | (庄内たがわ農協組合長) |
| | 令和3年 3月 | 高橋 幸司 | (鶴岡高専校長) |
| | 令和3年 3月 | 井上 貴利 | (鶴岡青年会議所監事) |

<理事>

- | | | | |
|-----|---------|-------|-------------|
| ・就任 | 令和2年 4月 | 松田 正彦 | (庄内銀行取締役) |
| ・退任 | 令和3年 3月 | 加藤 淳一 | (鶴岡商工会議所専務) |

3 事業推進懇談会の開催

地域に密着した産業支援機関として、地域産業における現状や課題を踏まえ、財団事業に対する地域ニーズを把握し、企業ニーズを的確に捉えた支援事業の展開を目的に開催した。

- ・開催日：令和3年3月12日
- ・出席委員：11名

4 組織・職員体制（令和3年3月31日現在）

常勤役員（常務理事） 1名、職員 23名

